

長野県総合5か年計画「しあわせ信州創造プラン3.0」の概要について

長野県企画振興部総合政策課

1. 策定の趣旨

人口減少・産業や地域の担い手不足・気候変動による災害の頻発・国際情勢といった課題等を的確に捉え、今後の県づくりの方向性を明らかにするとともに、県民と共有し共に取り組んでいくために策定した今後の県政運営の基本となる総合計画（計画期間：2023～2027年度）

2. 計画の主なポイント

- ・ 「社会的共通資本（※）」と「学びと自治」を共通視点として設定
（※）自然資本（森林、水大気、土壌等）、社会的インフラストラクチャー（道路、上・下水道、公共交通等）、制度資本（教育、医療等）から構成
- ・ 社会を変革するプロジェクトとして「新時代創造プロジェクト」を設定
- ・ 策定に当たって県民各層や有識者と意見交換を行う等いわば共創型の計画として策定
（今後、各施策の実行段階においても様々な共創の手法を活用）
- ・ 全国の自治体として長野県が初めて取り組んだ「AIシミュレーション」の結果を反映
- ・ ビジョンブック（別配布）の作成など県民に身近で分かりやすい計画として工夫

3. 基本目標「確かな暮らしを守り、信州からゆたかな社会を創る」

- ・ 確かな暮らしを守る：新型コロナ、物価高騰、気候変動・災害の激甚化、人口減少・担い手不足など、かつてない危機的な状況を克服し、県民の命と暮らしを守る
- ・ 信州から豊かな社会を創る：社会・経済が成熟する中で、信州の強みや特色を十分に生かして、物質的にも精神的にも満たされた、本当の意味でゆたかな社会を長野県が全国に先駆けて創っていく

4. 5つの政策の柱で計画を推進

- ・ 持続可能で安定した暮らしを守る
- ・ 創造的で強靱な産業の発展を支援する
- ・ 快適でゆとりのある社会生活を創造する
- ・ 誰にでも居場所と出番がある社会をつくる
- ・ 誰もが主体的に学ぶことができる環境をつくる

5. 40の主要目標（全体で128の施策達成目標）を設定

県民と共に取り組む代表的な目標を40の主要目標として設定、全体で施策達成目標を128設定
（以下、第8期長野県高齢者プランに関係する指標を抜粋）

- ・ 生きがいを持って生活している元気高齢者の割合
- ・ 健康寿命（日常生活が自立している期間の平均）
- ・ 運動・スポーツ実施率
- ・ 要介護（要支援）認定を受けていない高齢者の割合
- ・ 在宅での看取り（死亡）割合（自宅及び老人ホームでの死亡）
- ・ 介護職員数
- ・ 災害時要配慮者の「個別避難計画」を作成している市町村の割合
- ・ 電話でお金詐欺（特殊詐欺）被害認知件数 など